

平成21年度 獨協埼玉高等学校 自己評価シート

目指す学校像	多様かつハイレベルな進路目標を実現するとともに、豊かな環境のもと、真のリーダーシップと主体性を持った生徒を育成する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 真の学力向上を図るとともに進路目標の実現に向けて努力する。 2. 国際的な感覚を養うため国際理解教育をなおいっそう推進する。 3. 規律ある生活態度と豊かな人間性、社会性を培う教育活動を推進する。 4. 学校生活の安全性と快適性を向上させるため、教育環境の整備を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標				年 度 評 価 (4月27日現在)			実施日 平成22年6月5日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	シラバス作成、少人数授業、小テストなど様々な工夫をしているが、生徒の勉強に対する取り組みがまだ十分ではなく、教員の側でも授業自体の向上に一層の努力をする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の質を保証するための授業の向上 ○ 朝テストの評価 ○ 的確な進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科・科目の学習目標を明確に示す。 ○ 学習状況と目標の達成状況を把握するため授業アンケートを行う。 ○ 授業の向上を図るため研究授業を各教科で行う。 ○ 朝テストの回数と内容を再検討する。 ○ 進学に対する情報の整理と、保護者向けの連絡の工夫をいっそう進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ シラバスを公表し、学習目標を明示したか。 ○ 授業アンケートを実施し、学習状況と目標達成状況を把握し問題点を明らかにしたか。 ○ 研究授業を行い、教科会で検討したか。 ○ 朝テストの回数と内容を検討したか。 ○ 進路情報の整理と伝達の工夫をしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科各科目についてシラバスを作成しHPで公表した。 ○ 授業アンケートを実施し、学習状況がある程度把握できた。 ○ 研究授業を各教科で実施し、教科会で検討した。 ○ 朝テストは現状通り実施しつつ内容に改善を加えていくこととなる。 ○ 進路情報は生徒や保護者対象の説明会を頻繁に行うとともに文書でも伝達した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校3年間、中高6年間を見通したシラバスをもっと工夫する必要がある。 ○ 授業アンケートの質問項目を目標に合うようさらに改善する必要がある。 ○ 授業改善のために研究授業等を積極的に実施する。
2	夏期語学研修や姉妹校交流など積極的に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏期語学研修 ○ ペノラカトリック校、シュタインバート・ギムナジウムとの姉妹校交流 ○ 留学生の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏期語学研修への参加を積極的に働きかける。 ○ 姉妹校交流を定期的に行う。 ○ 可能な限り留学生を受け入れ、日本語だけでなく日本文化についてもできる限り教授していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏期語学研修に対し昨年と同程度の参加があったか。 ○ 姉妹校との交流を定期的に行ったか。 ○ 留学生を受け入れ、日本語・日本文化について教授したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型インフルエンザの影響で夏期語学研修を中止せざるを得なかった。 ○ シュタインバートギムナジウムより10月に15名が本校を訪問し、3月に本校生徒15名が相手校を訪問し、語学文化の交流をするとともに、友情を育むことが出来た。 ○ ドイツから男女1名ずつ留学生を受け入れ、日本文化を知る研修に参加させた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習のいっそうの充実を図り、語学力の向上に努める。 ○ 22年度のペノラ・カトリック校との交流に向けて実り多いプログラムを作る。 ○ 留学生に対し日本語だけでなく日本文化についても今後も教授していく機会を増やす。
3	部活動や行事に積極的に参加することにより豊かな人間性・社会性をはぐくむとともに、規律ある生活習慣の確立に向け取り組んでいるが、部活動の終了時間の徹底及び服装に対する意識変革が課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動や行事への積極的な参加 ○ 規律ある生活態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動紹介や行事の案内を通じて部や行事への積極的な参加を図る。 ○ 部活動の終了時刻を徹底する。 ○ 規律ある服装への意識化を図る。 ○ 携帯電話の使用に関する原則を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動紹介を行ったか。 ○ 積極的な部活動・行事への参加があったか。 ○ 下校時間は守れたか。 ○ 服装に対する意識が向上したか。 ○ 携帯電話使用の原則を守れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動紹介を年度当初に実施し、部活動や行事への参加は活発であった。 ○ 下校時刻後も校内に留まる生徒が多少残っている。 ○ 頻繁に服装指導を実施しある程度の効果はあったが、まだ十分ではない。 ○ 携帯電話使用の原則を生徒に周知徹底した。 	B+	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規律ある生活に向けて服装指導をはじめ今後も創意工夫した指導の必要がある。 ○ 携帯電話の節度ある使用に向けて今後も指導を継続する。 ○ 下校時刻を再度、周知徹底する。
4	校内の環境はおおむね美しく保たれているが、校舎は30年前のものであり、トイレの改修が必要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレの改修 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校棟1階の残りのトイレを改修する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレの改修が行われたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1階のすべてのトイレの改修が実現した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校棟の未改修のトイレの改修を行うこと。

学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校3年間、中高6年間のシラバスの内容を保護者に分かりやすく伝える工夫をしてほしい。 ○ 定期考査においてもシラバスを生かし、クラス間、担当者間で差ができるだけ出ないよう心がけてほしい。 ○ 選択科目のとり方について保護者にも概略を伝える工夫をすべきである。
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短期留学生を家庭で受け入れようと考えても不安があるので、前年度の受け入れ家庭の体験を他の家庭にも伝える工夫をしてはどうか。 ○ ホームステイ中の短期留学生を休日どこかに連れていくのに学校からの補助は考えられないか。
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女子生徒のリボンをフック製にするなどのことも考えてほしい。 ○ 部活においても、服装や人間関係などの規律を指導すべきである。 ○ 携帯電話使用ルールの統一的な運用という視点を持つ必要がある。
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も着実に継続してもらいたい。